

「地域で支える多様な学びと育ちの子どもたち」アンケート報告書

①非常に分かりやすいお話しでした。ありがとうございました。困難を抱える児童・生徒の理解が社会に広がっていくと良いと思います。
(ぜひ、またお話しを聞きたいと思いました。教育と福祉の連携が中学・高校では、まだまだだと思えます。ぜひ、連携が取れるようにお願いします。)

②発達障がいについて大変わかりやすくお話しいただきありがとうございました。子どもたちの接し方・声掛けなど参考にしたいと思いました。体験コーナーは、とても興味深く、困難さについてすごく納得できました。
(わかりやすいお話をありがとうございました。)

③北高校の通級指導教室は北高校在籍でないと、当分の間使えないとパンフに書いてありました。まずは、北高校に合格しないとだめでしょうか？
(大変な準備だったと思います。ありがとうございました。)

④特別支援教育の視点を県民が理解することが、本当の理解啓発になると思う。より多くの人に理解してもらえるように、私達ができることはないのでしょうか？「こんな支援がある」は誰が教えてくれるのでしょうか？現状、保護者が学校に求めている。保護者が学ばなければ話が進まない。障がいは環境により、大きくも小さくもなる。これだけでも理解して欲しい。色々な資料がデータではなく冊子であると良いと思います。

制度のはざ間の子ども、親はすごく困っています。「調べます」からかかる時間が長く、子どもはすぐ成長してしまいます。地域の方がこのような機会をつくっていただいていることは素晴らしいと思いました。

- 保護者は学ぶ場を求めています。一生懸命調べて学校と話をします。毎年変わる特別支援コーディネーター・担任とてもハードルが高いです。
- 学校からも提案していただける制度・仕組みも作ってください。(学校のサポート制度など)働き方改革で合理的配慮、先生方の負担に影響が出ているように感じました。
- 保護者・先生、どちらにも良い話でした。ありがとうございました。

⑤小学校高学年の子を持つ母です。特別な支援を要する児童生徒への接し方についてわかりやすい説明でした。発達にかかわらず、子どもに対しての対応について、失敗している点や、出来ていないことに注目して怒ることも多かったため、自分自身の行動に対しても振り返る時間となりました。子どもが成功(頑張っている)したことは頭でわかっている、つつい次ぎを求めてしまい、現在成功していることに、十分に注目してあげられなかったと思いました。今後、特別な支援を要する子どもたちのために支援を行ってまいります。

(1つ1ついいねいであたかみのあるあるお話が、印象的でした。また、講演を聞いてみたいです。ぜひ、企画していただけますようにお願いします)

⑥学校内に生徒指導のできる人材が必要だと思う。

⑦大変にわかりやすい内容で勉強になりました。たくさんの方に聞いていただきたいと思いました。また、次回もこんな会合をもっていただきたいと思えます。

(県内の市町村でもこういう会合をしていただきたいと思えます。ありがとうございました。)

⑧実際に支援学校で関わって来られた方のお話だったので、非常に分かりやすく「うん、うん」と思いながら聞かせていただきました！時間がなく最後まで聞けず残念でした。また機会がありましたら、ぜひ！と思いました！

(まだまだ理解がない教育現場の現状があります。ぜひとも！理解を深める先生を増やすため、活動して頂きたいです！)

⑨ほんのチョットだけの参加でしたが、すごくわかりやすいと感じました。質問にもきちんと詳しくていねいに答えていて、聞いていてもとても気持ちよかったです。せっかくなのでほんとうに、たくさんの方々に聞いてもらいたいと、私も思いました。

(パンフレットもわかりやすかったです。ご苦労様でした。ありがとうございました。)

⑩特別支援教育の視点での指導は、すべてのお子さんに有効と聞いて、区別するのではなく、個性を大切にすることを早くこの考え方が浸透してほしいと思った。それぞれの特特別の困難さをわかりやすく説明していただき、理解してあげ適切な支援をすることの重要性を痛感した。対応のやり方も具体的で、早く知っていればと思うものばかりで有難かった。これからも子供達がかんばれる環境を整えていこうと思います。

(子供達に対するあたたかい思いがあふれるわかりやすい講演で、ぜひ多くの方に今日の内容を知っていただきたいと思った。今日は、本当にありがとうございました。)

⑪特別支援教育の視点は、全ての児童生徒に生かされるべきものである特別な配慮を要する児童生徒に限らないことを教えていただきました。ありがとうございました。

⑫頂いた資料も講演内容も、とてもわかりやすくて良かったです。特に体験コーナーは、困り感を実感することが出来て良かったと思います。困り感を親や先生・支援する人達がしっかり理解して対応することの大切さが良く理解出来ました。我が子に置き換えて考えると現在の高校での対応は、まさにお聞きした内容に沿ったもので…本当に良い高校で学び、育てて頂いていることに感謝です。

⑬講演会はとても解りやすく模擬体験もあり当事者自身の気持ちがわかり何度かシリーズのようにして開催されてはと思いました。

(傾聴が大切だと仰った事がとても嬉しく基本だと思っています。経験体験を踏まれ現場を知った方で子供たち一人一人に目を向けられてこれたのだなあと感じました。ぜひ行政の中での啓蒙を行っていただき、行政がもっと当事者の話を聞いて進めて頂くようお願いします。当事者、学校及び行政、支援者及び県民が一体となって子育てが出来るといえるようになるといいですね。)

⑭資料ありがとうございました。すごく聞きたかったです。

⑮大変に勉強になりました。ありがとうございました。

⑯小学校、中学校、高校と親である私が望み、学校側にお願いしていたことは一貫しています。それを真剣に受け止めて、校長先生自らが入学前の会議にも出席し、関係する教師全てが共通理解を持って対応してくださいました。学校って、やれば出来る所を実感させてもらいました。我が子が1年の担任の先生に対して「先生にもこんなに生徒思いで良い人がいるんだ！僕は先生の教え子のひとりになれて良かった！」と言った言葉が忘れられません。高校になって親の私が変わったことなんてありません。小学校から同じように学校側にお願いしてきただけです。

中学校時代には、学校だけではなく勉強をみて頂いた方に心無い言葉を言われたり、悔しい思いもしました。(講演会の中で言うてはいけない、やってはいけない事をされました。) 要は、心ある教師や人に出会えるかどうかのかなあ〜と近頃、考えます。今、理解ない学校や教師に苦労されている方もいらっしゃるかもしれませんが…。良い学校、教師、支援者はいます。

そんな学校、教師、支援者を育てる為にも、このような講演会は貴重なのだと思いました。講演会でお話し頂いた講師の先生や講演会の為に色々と働いて頂いた方々に改めてお礼を申し上げます。

そして、今、心ない学校や教師に悩んでいる方に、良い学校、教師との出会いがあることを願っています。

⑰講演会素晴らしかったですね。保護者が学びたいと思ったときにサポートしてくれる何かが必要だと感じました。困っているときに、これができるよと教えてくれる先生、相談機関はごくまれです。もちろん保護者の一方的な要求だけでもダメです。私は制度の仕組みを知り、子どもの気持ちに寄り添い、将来を考えながら必要な配慮を見つけ、協議していきたいと思っています。しかし、制度の狭間や現実とのギャップもあり、独学では限界があります。個別対応ではなくても今回のように学ぶ場があると保護者にとってはいいと思います。

保護者から支援の要望がなかったらしませんでした。とたまに聞きます。しかし、その支援があることを保護者はどこで学べばいいのでしょ

う。提案してもらえないのに。自分が知らないからだと自分を責める方も出てくると思います。福祉・教育・医療…完璧にマスターできるスーパーマンになれるものならなりたい。でも、おそらくそこまでは出来ません。知りたい、何とかしたい、学びたいと思ったときに学べる場があるといいですね。

⑩県特別支援課の渡部様。疑似体験は、とても、勉強になりました。本人の1番困っているのは、本人だと思いますが、二次障がい、家族や近い関係の人にも起こります。福祉と保健は、連携が進んでいます。が、特別支援と福祉は、置いていかれている感は否めません。

本人及び家族が、切迫した状態になっております。障がい福祉課との連携は不可欠です。

お忙しいとは、存じますが、特別支援課との連携をお願いいたします。

⑪高校生の母です。子どもとなかなか会話ができなくなりました。高校生は、どんなことを考えての支援がありますか？

⑫息子が中学生ですが、書くことに困り感があり授業についていけないようです。学校に理解してもらえません。どうしたらよいでしょうか

⑬昨年度も5月に県特別支援課に、出前講座に来て頂きました。私は、南宮崎アーケードに5月の風が吹くころになると「私も、特別支援のことをもう一度勉強したい！サタスタとかある時には教えてください。」と言われたお母さんのことを思い出します。1年前にお亡くなりになりました。

私たち保護者は、子どもに支援が必要なのにどう子育てしてよいか…学ぶ場もありません。

保護者は、うつ病は当たり前・大病を患われている方もいらっしゃいます。学校とのやり取りのストレスは、半端なく辛いものです。もっと、保護者に分かりやすく優しい相談窓口や、知識と経験のあるサポーターをつけていただけないでしょうか？

どうか、今日のような勉強会をこまめにさせていただきたいです。

渡部様には、お忙しい中を講師に来て頂き、分かりやすい資料も作ってください、心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

⑭今回の講演会で多様な学びと育ちをしている子どもたち（発達障がい）の現状がとてもよくわかりました。資料もスクリーンもとても見やすく、渡部さんの体験を通しての子どもたちの様子・やりとりの様子が多くあったので、子どもたちの困りごととその支援の在り方が、本当に分かりやすかったです。更に疑似体験にて、子どもたちの見え方、聞こえ方、書き方の困難さを知ることが出来、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。子どもたちの対応は1つではなく、その子に合わせて色々あること、叱ったり、励まし過ぎたりせずに、まず、共感！そこからほめたり、励ましたり、提案すると、子どもたちに自信がつくこと、そのことが腹に落ちました。

今回と同じ講演会をぜひ、保護者・PTA・支援者（児童クラブ・児童センター・放デイ）・学校の先生、宮崎県の隅々まで行きめぐらしていただきたいです。また、地域のお年寄り、おじいちゃん・おばあちゃんにも伝えて染み込ませていただくと、子どもたちが自分らしく、その子の持っている力を伸ばしていけると強く感じました。

渡部さん、お忙しい中を本当にありがとうございました。渡部さんのような素晴らしい講師を増やして、宮崎県を明るくしてください。

みやざき子どもの未来応援コーディネーター

地域福祉コーディネーター：金丸セツ子・高尾美代子・三角初美